

社長のひとりごと

私の最近の読書は、情報本やハウツー本が多くなっています。その類の本は、好きなところから読んで必要な情報だけを得るといった読み方ができますので、最初から最後まで一気に読むということはありません。まず目次を見て、大体どこにどのようなことが書いてあるか把握した上で、興味のあるところから読み始めます。そんな状態で、複数の本を同時に読み進めます。しかし、文学書、歴史書、伝記物、推理小説などは、はじめから一気に読まない気が済みません。最近ではその時間がとれないため、それらの本から遠ざかっています。学生の頃、アガサ・クリスティの名探偵ポワロシリーズを夢中で読んだことがあります。読みすすめていくと、そこに入り込んでしまい、その光景が手に取るように伝わってきました。しかしその数年後、映画化されたものを観たときには、本を読んだときのようなワクワク感はありませんでした。内容を知っていたということもありますが、本と映画ではその表現方法がまるで違います。映画は、監督がその原作から受けた印象を、映像や音を通して表現するため、観客も監督に近いイメージに固定されてしまいます。反面本は、心理描写など映画では表現できないところが詳しく書かれていて、読者の自由な想像を可能にします。本を先に読んで、映画を観るといった経験は何度かありますが、すべて満足したものではありませんでした。映画を観てから本を読むのであればまだいいのですが、本を読んでからは映画は観ない方が、自分のイメージを壊さなくて済みそうです。

代表取締役 田中 昭弘

かべぬり体験会を開催しました。

2月17日(日)、毎月1回開催のかべぬり体験会を行ないました。好天に恵まれましたが、気温はさほど上がらなかったため、材料の練り混ぜ以外、ギャラリー内部で行ないました。

今回もお子さん連れの参加があり、すべての工程で興味津々です。塗り方が始まると本領発揮。小さなコテを使って自由に模様を描いていました。

今回参加した方の中には、玄人裸足の方がいて、コテ使いが素晴らしい！講師のこちらが教えて頂くほどの腕前です。後半の珪藻土性能実験でも、積極的に質問していました。ご自分で漆喰を塗った事があるようで、これから造る工房に使うことを検討するため、参加されたようです。

塗り上がったボードは、乾いてからそれぞれ持ち帰り、押入やトイレなどに置いて、効果を体感して頂いています。



《見て、聞いて、触って、味わってみよう》 期間限定 住まいづくりリフェア開催！

～自然エネルギーを活用した地球温暖化防止のための住まい～



住まいは、単なる生活の場というだけではなく、自分らしいライフスタイルを求める場でもあり、家族それぞれの想いを実現していく場であると考えています。「住宅工房空」の家づくりは、お客様の夢の実現をお手伝いし、喜んでいただくことです。ぜひご覧になって、体感してください。



<展示コーナー>

家づくりコンセプト
完成住宅写真パネル
プラン集
模型
シミュレーション
制震装置
材料見本

<体験コーナー>

★かべぬり体験会
★木工教室
プレゼンソフト

<視聴コーナー>

OMソーラー
住まい手ビデオ

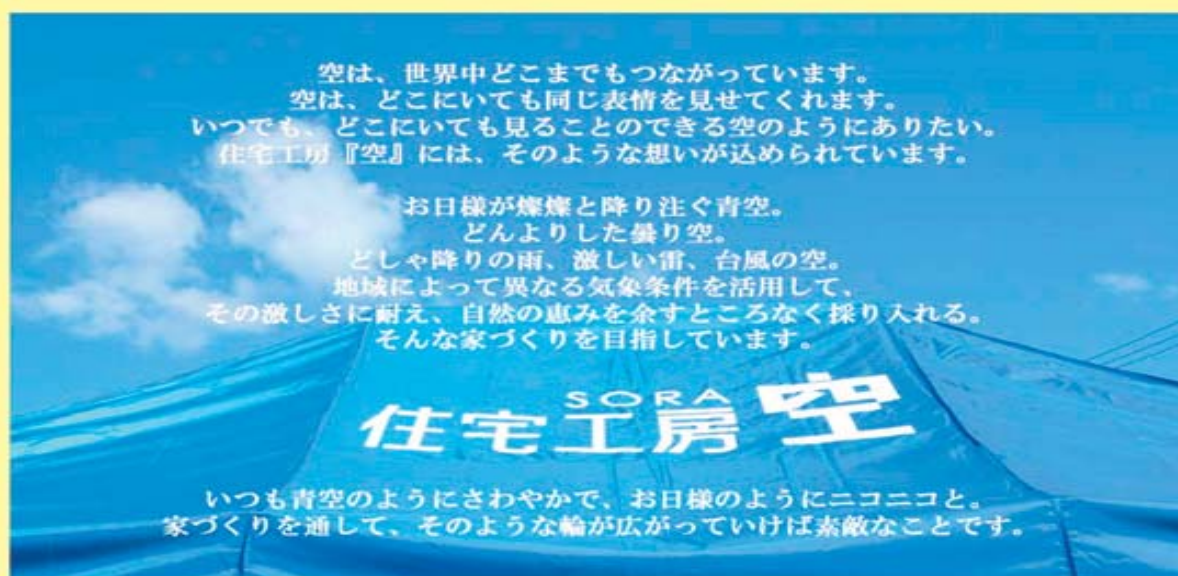
<飲食コーナー>

★焼きそば
★お好み焼き
★バーベキュー
コーヒー

<相談コーナー>

新築
リフォーム
耐震診断

★は4/12、4/13のみ開催



3月28日(金)～4月25日(金) (メインのイベントは桜祭りの期間)
開催場所：ギャラリーSORA & 夜ノ森ソーラータウン (夜ノ森南三丁目)
開催時間：10:00～18:00 桜祭りの期間以外の水曜日はお休みです。

<子供実験コーナー>

住まいの環境教育教材(箱模型実験キット)で『建物の外皮と熱のふるまい』を学ぶ。
(素材に触りながら、予測しながら行なうこの実験は、熱環境への感性を養い、体得したことが、省エネルギーで快適な住まい方やエコ建築を進めるための大切な礎となるため、小学生から建築技術者にまで幅広く効果的であると、高く評価されている教材です)

<お楽しみ抽選会>

期間中、特別招待券をお持ちいただいた方には、抽選でWiなど豪華商品をプレゼント！(特別招待券は期間中、ギャラリー空に用意していますので、必要事項をご記入の上、抽選にご参加下さい)営業マンはいませんので、お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。

(お問合せ・お申込み) 住宅工房空 SORA 田中建設工業(株) 0240-34-6125 浪江町大字権現堂字町頭15 http://www.ta-na-ka.co.jp/

又は ギャラリー空 SORA ギャラリー&体感展示場 0240-22-8222 富岡町夜ノ森南三丁目17 http://gsora.exblog.jp/
平日 13時頃～18時頃 土日 11時頃～18時頃 定休日：水曜日

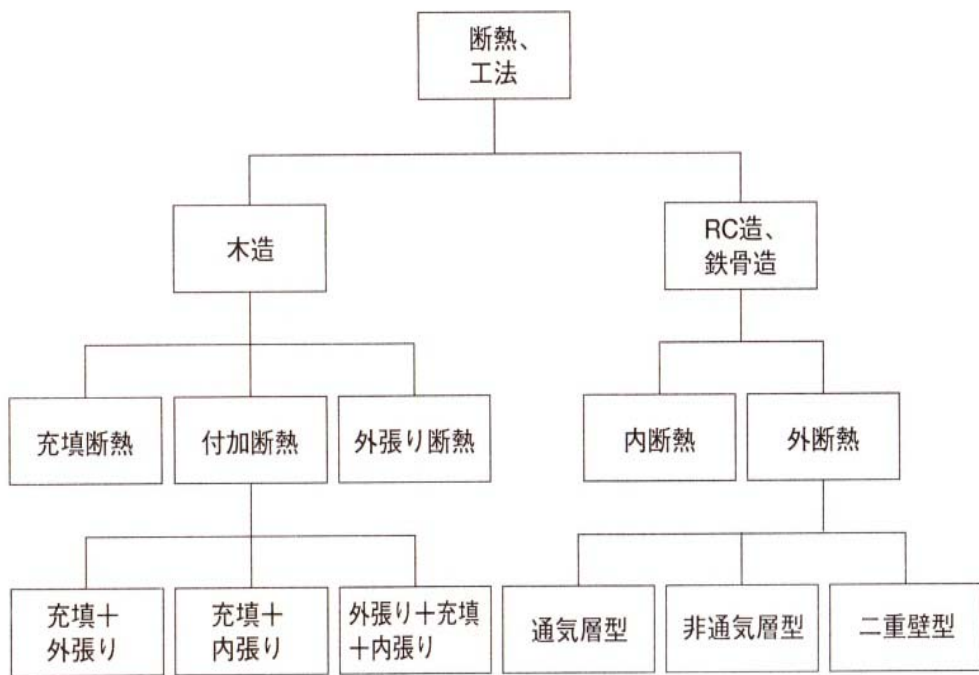
この通信は、これまでご縁のあった方々にお届けしています。

中止のお申し出がない限りこちらの一存でお送りしますが、一年以上音信のない方には、その後ご連絡があるまで休止させていただきます。

外断熱ブームから断熱工法を検証する

数年前から、外断熱に関するコマーシャルや本を頻繁に目にします。その多くが外断熱 = 万能と感じさせるようなものです。最近では少し下火になってきましたが、それでも、専門知識のない方がその情報を鵜呑みにする、というケースが多くあり、看過できない状況です。以前、見学会へお越しいただいたお客様が、その家が外断熱ではないと知るや否や、こんな家ではダメだと言い放ち、取り付く島もなく、ほとんど見学しないでお帰りになったことがありました。本当に純粋な方で、かわいそうに思ってしまいました。このような誤解を正すため、今回から数回にわたり、断熱に関する正しい情報を発信していきたいと思えます。

まず1回目は断熱工法の分類についてお伝えします。下図は断熱工法の分類図です。外断熱という言葉は、RC造、鉄骨造のときの呼び名で、木造の場合は、外張り断熱というのが正しい言い方です。



言葉とは恐ろしいものです。ベストセラーになった『「いい家」が欲しい』は木造住宅の断熱工法について書かれた本ですが、本来木造住宅には存在しない「外断熱」「内断熱」という言葉を誤用して、充填断熱とRC造の内断熱(=結露)のイメージを混同させています。両者は全く別物なのです。

『「いい家」が欲しい』の内容は、ある特定の工法(ソーラーサーキット)の優位性を述べています。内断熱(充填断熱)を根拠も示さずに否定することで、マイナスイメージを植えつけ、それによって外断熱(外張り断熱)の優位性を示しています。実に商売上手なやり方です。この本が、三省堂書店から発売されるに当たり、全国紙に定期的に広告が出され、他の同様の本との相乗効果もあって、ベストセラーになったようです。言わば、つくられたブームです。専門知識のない方が、この本を読んだり、外断熱(外張り断熱)の優位性を謳うコマーシャルを頻繁に目にすれば、その信奉者になるのは仕方のないことです。ひと昔前の、「天井の高い家ではいい子供が育つ」的などころがあります。

断熱工法にもいろいろありますが、ここでは木造住宅の断熱について考えてみたいと思います。今回は、充填断熱と外張り断熱について、さらに詳しく調べていきます。

(参考図書: 外断熱が危ない!、(株)エクスナレッジ)

OMソーラー心地よさの秘密

OMソーラーには、暖かさだけではない心地よさがあります。それは、「暖房しながら換気する」ということ。健やかな生活のためには、換気がとても大切です。しかし、換気をするということは、部屋の中の汚れた空気を外に出すだけではありません。冬は、室内の暖かさを外に逃がし、外の冷たさを室内に持ち込む、ということです。外の冷たさを室内に持ち込むと、暖かさを補うために暖房にかかるエネルギーもコストも膨らみます。「換気をとるか、暖かさをとるか」。これは多くの住宅で快適さを実現するための大きなテーマでした。

そこで、OMソーラーでは、これを両立するしくみを考えました。冬の冷たい空気を暖めながら取り込む方法です。もし暖房の効率だけでしくみを考えていけば、太陽の熱で空気を暖めるのではなく、水を温めるしくみになっていました。しかし、「暖房と換気の両立こそ、心地よさを生む大きなポイント」と考え、「空気」を選びました。現在では、冬だけでなく、夏に効果的な換気方法も提案しています。

目には見えない熱や空気の動きを考える。それが心地よさの秘密なのです。

「空気スッキリ元気な暮らし」(幻冬舎、家の空気を考える会著)より

心地よさの秘密
暖房と換気という相反することを
両立しています。



取材がありました

2月9日土曜日、OMソーラー協会の楽しもう通信といわき家ナビさんの取材がありました。天気予報では南から雪になるということでしたので、どうなることかと心配していましたが、幸い取材中は好天に恵まれました。

たまたま遊びに来ていたお姉さんの子供たちも、一緒にデッキに座って撮影です。

最初に外部の撮影を済ませ、その後、内部の撮影。同時進行で、ライターさんによる取材も行なわれました。

今回、二度の取材で施主さんの負担にならないようにと、いわき家ナビさんの取材もご一緒させていただきました。



残った材料でつくった、家族の手形パネル。

楽しもう通信は3月末ごろ完成の予定です。ギャラリー空での「住まいづくりフェア」ではお披露目できそうですので、桜の季節にぜひお越し下さい。

今年から紙面をA4両面に変更させて頂きました。従来は、これから住宅建築を考えている方向けの内容になっていましたが、今後は、既にお住まいの方への情報を追加して、より多くの方に読んでいただけるよう内容を充実して参りたいと思います。季節感、時事感のある記事を織り交ぜて、編集人やスタッフの気になる情報を発信していきたいと思えますので、これからもよろしくお願い致します。